

～～第7678回～～

鞍掛山

～H27. 5. 23～

JR安倍川駅前に5:00集合。参加者は11名（静岡西支部10名・北支部1名）。自家用車に分乗し、新東名新清水インターから52号線経由中央道須玉インターを降りて、20号線を行き道の駅はくしゅう手前を曲がり日向山登山口の矢立石に向かう。駐車場に7:30到着するも既に相当数が駐車している。出発時間は要注意である。ストレッチ後、尾根沿いの日向山登山道ではなく尾白川溪谷沿いの林道を歩く。かなり荒れてはいるが、ウォームアップには丁度良い。40分ほどで鞍掛山への登り口となる錦滝に到着。あずまやで小休止、滝のほうを見やるとユキワリソウが咲いていた。ここから北方向に登り始める。地形図の等高線がかなりつまっているなかなかの急登であるが、その分高度を稼いでくれる。ワンピッチで日向山へのトラバースと鞍掛山方面との分岐に到着。さらに登り進めると主稜線の雁ヶ原分岐に出、西方向に左折して進む。しばらく樹林帯の急坂が続くが日向八丁尾根と呼ばれる登山道は歩きやすく、また何箇所か鞍掛、大岩山方面の標識もある。今日は天候も良く斜度がやや緩んできたあたりで、木立の間から甲斐駒ヶ岳や鳳凰三山のオベリスクが展望できた。歩くこと1時間と少し、鞍掛山への分岐となる駒岩に到着。今日のルートはここで南に向かうが、稜線をさらに2時間ほどで大岩山である。ここでやや早い昼食とする。鞍掛山のピークへは一度鞍部へと急坂を下りグッと登り返す道となる。やや滑りやすい下りを鞍部まで行くと淡いピンクで可憐なクモイコザクラが岩肌に張り付くように咲いていた。まとめてこれだけ咲いているのは貴重である。登り返しはかなりの急登で、かつ切れ落ちている箇所もあり慎重さが必要だ。30分ほどで標高2,037mの鞍掛山に到着するが、眺望がないためそのままスルーし、もう少し南東の展望台まで足を延ばす。そこは、途中で少し見えた甲斐駒、鳳凰に加え、烏帽子から鋸岳へ続く迫力ある山並みが眼前に広がり、今までの疲労感も一気に解消された。パノラマを十分に堪能し、岩場に咲くアカバナヒメイワカガミの可憐な花に目を留め、元来た道を引き返し雁ヶ原分岐から日向山へ向かう。砂礫の登りがやや歩きにくいだが、日向山のピークでも八ヶ岳をはじめ大展望を満喫できた。ここから矢立石の登山口までの緩やかな道を一気に下る。駐車場には14:50到着。ちょうど7時間ほどの行程で、景色と花を合わせ十分楽しめた山行であった。

コースタイム：矢立石 740…錦滝 815…雁ヶ原分岐 915…駒岩分岐 1025…鞍掛山 1110…展望台 1120…駒岩分岐 1215…雁ヶ原分岐 1305…日向山 1345…矢立石 1450

静岡北 中尾



クモイコザクラ



甲斐駒ヶ岳